

ようこそ日本へ!

ドイツスポーツ少年団との文化交流

7月29日～8月2日、日本とドイツ相互の友好と親善を深めることなどを目的とした「日独同時交流事業」が行われ、ドイツのチェススポーツ訪問団9人が大津町で過ごしました。7月30日に大津高校で行われた大津高校・翔陽高校の学生との交流プログラムでは「フェアプレイ」をテーマにディスカッションを行い、互いに交流を深めました。



他にも武道の視察を行ったり、茶道を体験したりするなど、訪問団員たちはさまざまな日本文化に触れていました

第3回白川中流域地下水啓発講座を開催

第3回白川中流域地下水啓発講座

8月10日、第3回白川中流域地下水啓発講座が町生涯学習センターで開催されました。熊本大学大学院教授の嶋田純さんから、火砕流帯水層による地下水の生成と循環、近年の地下水量の減少、休耕田での涵養といった地下水保全の取り組みの重要性について説明がありました。次回9月28日(日)以降は菊陽町杉並木公園管理センターで開催されます。ぜひご来場ください(入場無料)。



当日は約60人の参加があり、白川中流域での地下水保全の取組みが大切なことについて、皆さん熱心に勉強していました

夏に苦手を克服してステップアップ!

夏休み集中学習会

7月22日～25日の4日間、オークスプラザで小・中学生146人が参加して開催されました。今年も定員に対して多くの応募があり、抽選で選ばれた参加者は町学習支援指導員と大津高校、翔陽高校、大津中、大津北中のボランティア34人から優しく丁寧に教えてもらって集中して学習に取り組みました。休み時間には違う学校の友達ができ参加者もあり、「また参加したい」との感想もたくさんありました。



新聞を読もう! NIEの様子

全国のクリ生産者が熊本に

第29回全国クリ研究大会in熊本

7月29日～30日、全国クリ研究大会が熊本県で開催され、初日は菊池市文化会館で「クリ作りに新たな夢を求めて!」をテーマに、研究成果の発表や記念講演などが行われました。2日目は町内のクリ生産者である村上誠喜さん(中島)の園地に全国から150人を超える生産者が訪れ、防除対策や作業の効率化などさまざまなことを村上さんたちに興味深く質問していました。次回は愛媛県で開催される予定です。



村上さん

村上さんは130アールの園地に利平クリという大粒で甘みの強い品種を作っており、県や地域の見本園として活用されています

「混ぜればごみ・分ければ資源」を学ぼう!

夏休み「環境教室」

8月8日、「夏休み「環境教室」」が町交流会館で開催されました。これは子どもたちに環境循環社会づくりを目指した取り組みを学んでもらうことを目的に、大津町商工会が毎年行っているものです。当日は約20人の子どもたちが参加し、ダンボールコンポストやごみの分別などについて学びました。



環境について学んだあとは、地産地消の食材を使ったカレーライスなどをみんなで味わいました

園児たちが生ごみを使って土づくり

生ごみを使った野菜づくり・食育

8月8日、よるこび保育園の園児たちが、生ごみを使って野菜を植えるための土づくりを行いました。当日はNPO法人大地といのちの会理事長の吉田俊道さんと菊池管内環境活動協議会の村山和義さんらの教えを受けながら、みんなで協力して、生ごみを小さく刻み、発酵用の菌と土を混ぜる作業を行いました。今後、この土に野菜を植え、冬に収穫する予定です。



みんな仲良く、楽しく、協力しながら作業を行いました

講習会を通して地域の活性化

ゴキブリ団子作り講習会・よくわかる省エネ講座

6月25日、「ゴキブリ団子作り講習会」と「よくわかる省エネ講座」がつつじ台地域学習センターで開催されました。これは、つつじ台団地の皆さんと地元の老人クラブ「つつじ台絆の会」の交流を深めることを目的に開催されたもので、ゴキブリ団子作りでは、町老人クラブ連合会シルバーヘルパー部会で講習を受けた皆さんが講師役を務めました。



省エネ講座では、ちょっとした気配りが省エネや電気代の節約につながることを楽しく学びました

国際交流協会と留学生の意見交換

熊本学園大学の留学生との意見交換会

7月21日、大津町国際交流協会の会員20人と熊本学園大学の留学生6人が熊本学園大学で意見交換を行いました。この意見交換は昨年から行われており、ベトナムや中国、韓国からの留学生は将来の夢や目指している職業などについて語りました。また、大津町の良いところやグルメについて教えてほしいといった意見もありました。



「日本で店を持ちたい」「母国で通訳の仕事に就きたい」など、留学生たちはさまざまな夢を語りました